

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 ももの木		
○保護者評価実施期間	2025年12月17日		～ 2026年1月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13人	(回答者数) 8人
○従業者評価実施期間	2025年12月17日		～ 2026年1月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成	2026年1月23日		

○分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・親との連携がうまくできている	・LINEでのやり取りで、日々のお子様の様子をお伝えしている	・日々の連絡の中、些細な親の要望等汲みりつつ、更なる連携を図る
2	・児童に怪我や異常があった際、速やかに行えている	・職員同士で確認を取りLINEにて速やかに保護者様に報告をしている	・引き続き速やかに対応、また怪我の起きにくいように、環境を整える
3	・子どもの満足度が比較的高め	・月に合わせた、制作等行っている	・月の制作をした後、子どもができたものを、職員、親、子ども同士共有できる工夫を行う

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・家族支援の研修、ペアレントトレーニング等の支援が弱め	・子どもの課題等、具体的に伝えきれていない部分がある	・親の気持ちを汲み取りつつ具体的な課題とように支援を行うか親との共有を行う
2	・地域活動の交流、参加の機会が乏しい	・立地の関係で車通りが多く、外との交流が難しい	・外に出る際の安全への配慮を行いつつ地域でのイベント等への情報をつかみ発信する
3	・母父の参加ができる、または親同士の交流機会があるイベント等の開催がない	・事業所が小さいため、イベントを開催できるだけのスペースがない	・イベントを開催するとするなら地域の会場を調べ開催を行う